

発行 水橋地区学校統合推進委員会  
(水橋東部地区センター内)

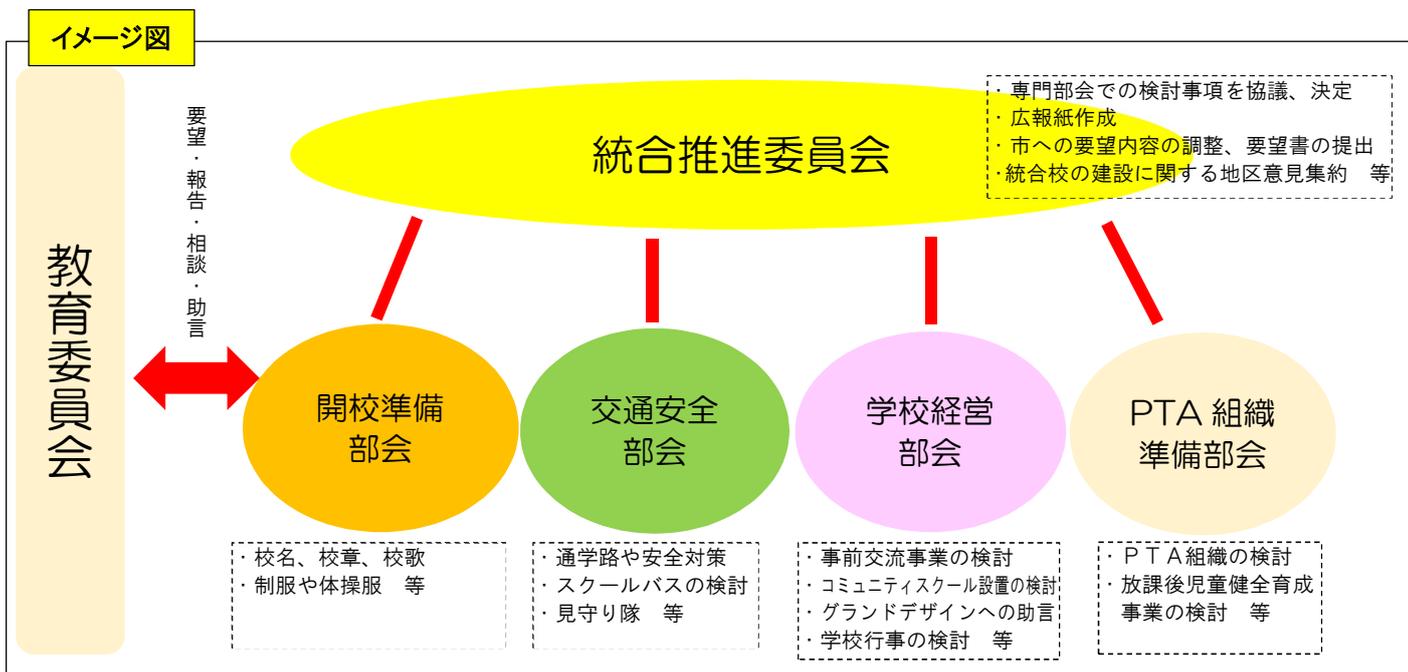
## 水橋地区の義務教育学校開校に向けた委員会が発足しました！

市では令和8年4月（最短の予定）に水橋地区の小学校5校と中学校2校を統合し、義務教育学校を開校する予定で準備を進められております。この義務教育学校の開校を円滑に進め、児童生徒にとってより良い教育環境を整えることを目的とした「水橋地区学校統合推進委員会」の設立総会を5月28日（金）に水橋ふるさと会館相山ホールで開催しました。設立総会では、委員紹介の後、会則や役員等を決定しました。また、八尾地域統合中学校建設推進協議会座長の藤井敏様の講演会や市教育委員会から水橋高校敷地の現況等の説明がありました。

今後、委員会で調整・議論された内容は、「ニュースレター」を通して、保護者や地域の皆さんにお知らせしていきます。

### ■委員会について

水橋地区の義務教育学校開校にあたり、調整が必要な事項について協議を行う委員会です。自治振興会・PTA・学校・保育所（園）代表者26名の委員と顧問（市議会議員）1名で構成されます。また、委員会に4つの専門部会（開校準備、交通安全、学校経営、PTA組織準備）を設け、調整が必要な事項について、各部会において具体的に検討し、市へ要望してまいります。



### ■役員

役職	所属等	氏名
委員長	水橋地区自治振興会長(水橋東部自治振興会長)	堀田 宏
副委員長	水橋中学校PTA代表	新村 晃一
副委員長	水橋中学校長	城石 吉章
会計	水橋東部小学校PTA代表	堀田 希
会計	水橋中部小学校PTA代表	藤枝 卓哉
監事	上条小学校PTA代表	岡本 政尋
監事	水橋西部小学校PTA代表	前田 和紀

## ■講演会

八尾地域統合中学校建設推進協議会の座長であり、保内地区自治振興会長である藤井敏様より、平成28年度の八尾地域統合中学校建設推進協議会の発足当時から現在までの協議内容や懸案事項への対処方法などについて講演がありました。

### 講演会の概要

- ・平成28年度の協議会発足時から現在までの八尾地域での取組内容の紹介。
- ・当初は八尾、杉原両中学校の校舎の大規模修繕を行う予定だったが、予想を上回って少子化が進んだため、より良い環境で中学生に学んでもらいたいと考え、大規模修繕ではなく、統合を市へ要望。
- ・協議会は自治振興会やPTA等の意見・要望を集約して、市へ要望書を提出する役割を担い、協議会の中には4つの専門部会（建設検討部会、通学路安全検討部会、開校準備部会、設備・備品支援部会）を設置。
- ・統合校整備の要望書作成にあたって、保護者や教職員向けにアンケートを実施し、出てきた意見は全て要望書に記載。建設に関する要望は幅広く聞き、明文化することが重要。
- ・跡地利用に関する要望書は協議会とは別で提出した。要望書を出しても約束して貰えるわけではないが、アクションすることが大事。

※水橋地区の核となる歴史に残るイベントがこれから始まる。素晴らしい学校になるよう願っている。

## ■水橋高校敷地の現況について

市教育委員会から統合校建設の候補地となっている水橋高校敷地の現況について説明がありました。

### 敷地面積

約 5.2ha（建物敷地約 2.2ha、運動場約 3.0ha）  
※市街化調整区域

### 建物面積

約 13,500㎡  
（校舎約 8,700㎡、屋内運動場約 4,800㎡）  
※当該地周辺の地層は支持地盤が深い位置にあることから、建設時には、多数の支持杭が用いられている。



## ■義務教育学校の設置について

市教育委員会から水橋地区の統合校は義務教育学校とすることに決定したと説明がありました。

### 義務教育学校とは

- ・1年生（小学校1年生）から9年生（中学校3年生）までが在籍します。
- ・1人の校長のもとに、教職員が一つの組織となり、9年間の一貫した教育を行います。
- ・9年間の教育目標を設定した上で、独自教科の創設や前期課程からの教科担任制など柔軟な教育課程（カリキュラム）を編成することができます。
- ・日常的な異学年交流により、上級生が下級生の手本になろうとするリーダー意識の高まりや、下級生が上級生を手本として、高みを目指そうとする意欲の醸成など、相互に良い効果が生まれます。
- ・教職員が児童生徒の情報を共有することにより、個に応じた丁寧な指導や支援を9年間にわたり継続的・効果的に行うことができます。

## ■今後のスケジュール

今後は各専門部会において、統合に必要な事項を具体的に検討していきます。